

SWEDEN



描かれているのは、
何気ない幸福です。

スウェーデン絵画

北 欧 の 光 、 日 常 の か が や き
Masters of Swedish Painting from Nationalmuseum, Stockholm

2026

4.28 Tue.

6.21 Sun.

[開館時間] 9:00~17:00(入場は16:30まで) [休館日] 月曜日 ※ただし5月4日、6月1日は開館

[観覧料] 一般1,700(1,500)円/シニア・学生1,500(1,300)円

※シニアは70歳以上の方、()内は前売り、オンラインチケットおよび20名以上の団体料金。※高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在籍の方等は無料。 ※障害者手帳等をご持参の方とその介護の方1名は無料。 ※前売り券は、ローソンまたはミニストップ店内のLoppi(Lコード:63278)、セブンチケット(セブンコード:114-074)でお求めください。オンラインチケットの購入については、当館ウェブサイトをご覧ください。

[主催] 山口県立美術館、NHK山口放送局、NHKエンタープライズ中国、毎日新聞社、tysテレビ山口 [協賛] DNP大日本印刷 [後援] スウェーデン大使館 [特別協力] スウェーデン国立美術館 [協力] 全日本空輸、ルフハンザカーゴAG [企画協力] S2 [山口会場特別協力] エフエム山口

山口県立美術館

<https://y-pam.jp>

[山口会場特別協賛] 田中建設株式会社

本展は、「日本・スウェーデン文化科学交流年2026/The Swedish Embassy Year of Cultural and Scientific Cooperation in Japan 2026」の事業です。

カール・ラーション (カードゲームの支度) 1901年 油彩、カンヴァス Photo: Anna Danielsson / Nationalmuseum

作品はすべてスウェーデン国立美術館蔵



タナカホームズ



18歳以下
無料



グスタフ・フィエースタード《冬の月明かり》
1895年 油彩、カンヴァス Photo: Hans Thorwid / Nationalmuseum

北欧の光、神秘的な風景

季節によって日照時間が大きく変化する北欧では、光の移ろいが自然の表情を様々なに変化させます。日没や夜明けの薄明りに包まれたスウェーデンの自然は、神秘的で静謐な雰囲気をたたえています。



グスタフ・フィエースタード《川辺の冬の夕暮れ》
1907年 油彩、カンヴァス Photo: Nationalmuseum

大地に宿る妖精

ニルス・プロメール《草原の妖精たち》
1850年 油彩、カンヴァス Photo: Cecilia Heisser / Nationalmuseum



沈む太陽が地平線を赤く染める黄昏時。手をつなぎ、輪になって踊る少女たちの体は、宙に浮いています。彼女たちは、この地に宿る妖精。北欧神話や民間伝承の主題は「スウェーデンらしさ」を表すものとして、好んで描かれました。

日常のかがやき

窓からさす陽光に手をかざして遊ぶ少女。シンプルに整えられた清潔感のある室内は、心地よい暮らしに対するスウェーデンの人々の洗練された美意識を感じさせます。



ファンニ・ブラーテ《陽光》
1898年 油彩、カンヴァス Photo: Linn Ahlgren / Nationalmuseum

スウェーデンに息づく、自然と暮らしの美

白樺の森と澄んだ湖、黄昏時の淡い光。豊かな自然に抱かれた北欧の国、スウェーデン。この国の人々は、シンプルなデザインで室内を整え、甘いお菓子やコーヒーとともにゆったりと時間を過ごします。そうした丁寧な暮らしのなかで、日々のささやかな喜び、日常のかがやきが慈しまれてきました。今日、私たちが思い描く、こうしたスウェーデンのイメージは、19世紀後半から20世紀にかけてかたちづくられたものです。のちにスウェーデン美術の黄金期と呼ばれるこの時代、芸術家たちは、祖国スウェーデンの自然や日々の暮らしを、親密で情感をたたえた表現で描き出していきました。本展は、スウェーデン国立美術館の全面協力のもと、近年世界的に注目を集めるスウェーデン近代絵画の精華を体系的にご紹介する、日本初の展覧会です。魅力的で多彩な絵画作品を通して、自然と暮らしのなかにある美を大切にスウェーデンならではの感性に迫ります。



カール・ラーション《クリスマスと新年の間(「ある住まい」より)》
1894-1899年 水彩、紙 Photo: Erik Cornelius / Nationalmuseum

細やかな意匠に彩られた自宅のしつらえや、穏やかに暮らす家族の姿を描いた、スウェーデンの国民的画家カール・ラーション。彼の画集は、国内外で大きな反響を呼び、スウェーデンの理想的な暮らしの象徴となりました。

理想的な住まい



アンデシュ・ゾーン
《編物をするダーラナの少女コール=マルギット》
1901年 油彩、カンヴァス
Photo: Cecilia Heisser / Nationalmuseum

「スウェーデンらしい」主題を求めた芸術家たちは、近代化が押し寄せる都市を離れ、地方に残るスウェーデンの伝統的な文化を生き生きと描き出しました。



キーリアン・ソル《レットヴィックの夏至祭の踊り》
1852年頃 油彩、カンヴァス Photo: Nationalmuseum

故郷へのまなざし

Nationalmuseum, Stockholm



Photo: Anna Danielsson / Nationalmuseum

スウェーデン国立美術館

1792年にストックホルムに開館した、ヨーロッパで最も歴史のある美術館の一つ。そのルーツはスウェーデン王室のコレクションに遡る。1500年から1900年頃までの絵画、彫刻、素描、版画、そして中世初期から現代にいたる工芸、デザイン、肖像画など、約70万点を収蔵。スウェーデン随一の美術館であると同時に、北欧の最も重要な美術品ならびに工芸作品のコレクションを有する美術館の一つとして知られている。

展覧会イベント

講演会

「知られざるスウェーデン絵画の魅力」

2026年5月23日(土) 14:00~15:30

【講師】 萬屋健司 (山口県立美術館 学芸課長)
【会場】 山口県立山口図書館レクチャールーム
【定員】 150名(先着順) / 要申し込み
聴講無料 ※ただし、本展の入場券(または半券)が必要です。

学芸員によるギャラリートーク

5月2日、5月9日、5月16日(いずれも土曜日)
10:00~(45分程度) 事前申し込み不要

【講演会の申し込み方法】

◎ウェブでの申し込み

当館ウェブサイトの「ギャラリートーク&イベント」タイトルから、当該イベントの申し込みフォームへ進み、必要事項を入力の上、お申し込みください。

◎往復はがきでの申し込み

①参加希望のイベント名、②お名前(代表者)、③参加人数、④住所、⑤電話番号を明記の上、山口県立美術館宛にお送りください。

折り返し、当館よりご連絡いたします。

◎音声ガイド

ナビゲーター: JUJUさん

NHKの番組「世界はほしいモノにあふれる」のMCとして、北欧のアイテムや文化の魅力に触れてきたJUJUさん。声優・日野聡さんのナレーションとともに、スウェーデン絵画の魅力に迫ります!

■会場レンタル版:1台 650円

■アプリ配信版(iOS/Android)
配信価格:700円 配信期間限定



私にとって憧れの北欧!!

その中でもスウェーデンは特に行ってみたい国なのですが、今回絵画を通してスウェーデンに触れられることをとても嬉しく思っております。

「スウェーデン絵画 北欧の光、日常のかがやき」の音声ガイドとして、みなさんとこの旅をご一緒できることが今からとても楽しみです。

素晴らしい絵画と共に

よろしければ音声ガイドも聞いてみてくださいませ。

JUJU

SWEDEN

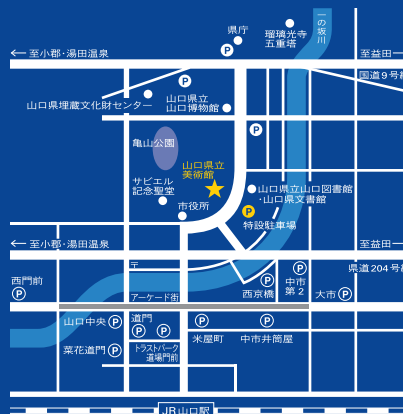


北欧がもっと、好きになる。

スウェーデン絵画

北欧の光、
日常のかがやき

Masters of Swedish
Painting from
Nationalmuseum,
Stockholm



◎交通案内

JR 新山口駅から山口線に乗り換え山口駅下車、徒歩約15分

JR 新山口駅から防長バス山口行きで約30分

JR 防府駅からJRバス山口行きで約1時間

[山陽自動車道] 防府東ICから車で約25分

[中国自動車道(広島方面から)] 山口ICから車で約15分

[中国自動車道(九州方面から)] 小郡ICから車で約25分

※駐車場は美術館周辺の各駐車場をご利用ください。

P 特設駐車場は無料。(200台)

P は無料。**P** は最初の1時間のみ無料となります。

(1時間無料券を配布しますので駐車券をお持ちください)

県庁駐車場は土・日曜、祝日のみ開放となります。

山口県立美術館

〒753-0089 山口県山口市亀山町3-1 tel.083-925-7788

<https://y-pam.jp>